第２５回 博多港地方港湾審議会
資 料

平成２３年８月１日

福岡市港湾局

議案第１号

博多港港湾計画の軽易な変更（案）について

港湾計画の変更について

○社会経済情勢の変化に適切に対応し、港湾を有効かつ適切に利用することができるよう、これまで港湾計画を変更

港湾計画変更の経緯

平成１３年　７月　改訂

平成１５年　７月　一部変更
・アイランドシティ地区及び、香椎パークポート地区の外貿コンテナターミナルを「効率的な運営を特に促進する区域」に位置付け　等

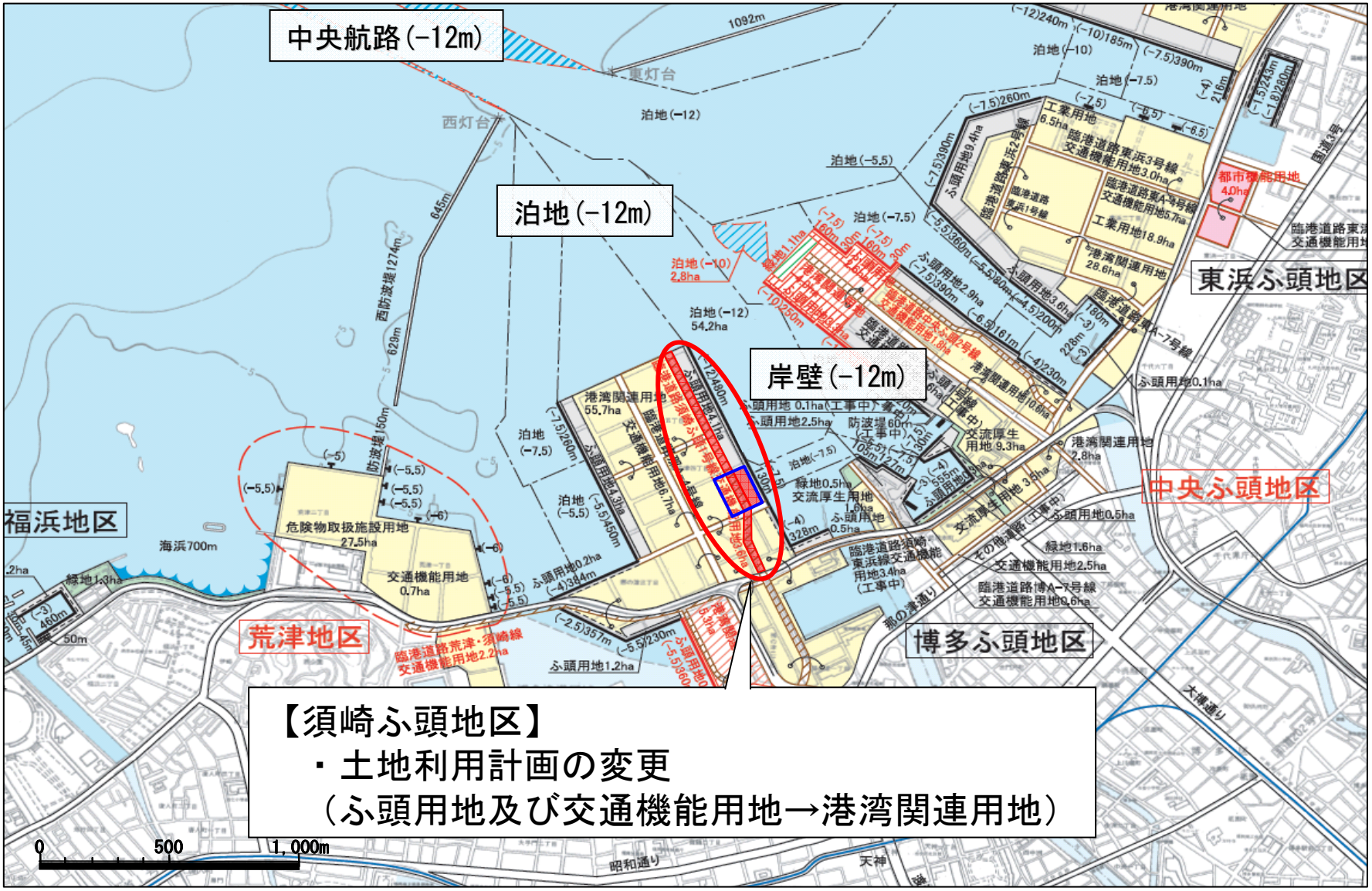
平成１７年１２月　一部変更、軽易な変更
・Ｃ２岸壁（水深１５ｍ）の耐震化
・海浜プロムナード（人道橋）の位置付け　等

平成２０年　７月　軽易な変更
・アイランドシティ地区における「臨海部物流拠点の形成を図る区域」の位置付け
・中央ふ頭地区における岸壁直線化及び船だまり計画の位置付け　等

平成２２年　３月　一部変更
・アイランドシティ地区における新青果市場の立地に伴う土地利用計画の変更
・東浜ふ頭地区における、周辺土地利用の変化に対応した土地利用計画の変更

港湾計画変更の概要

○須崎ふ頭地区において、製粉工場の立地に伴い、土地利用計画の変更を行う。



【須崎ふ頭地区】
・土地利用計画の変更
（ふ頭用地及び交通機能用地→港湾関連用地）

経緯等

○博多港は、市民生活や経済活動に欠くことのできない
小麦を背後圏へ安定的に供給する穀物基地

輸入麦の取扱量：約６７万トン（Ｈ２１：全国第３位）

九州における輸入食用小麦のシェア：１００％

○平成２２年夏頃、日清製粉㈱より、生産性の向上やコスト
競争力の強化の観点から、既存工場（鳥栖、筑後工場）を
統廃合し、須崎ふ頭に新工場を建設したいとの要望があった。

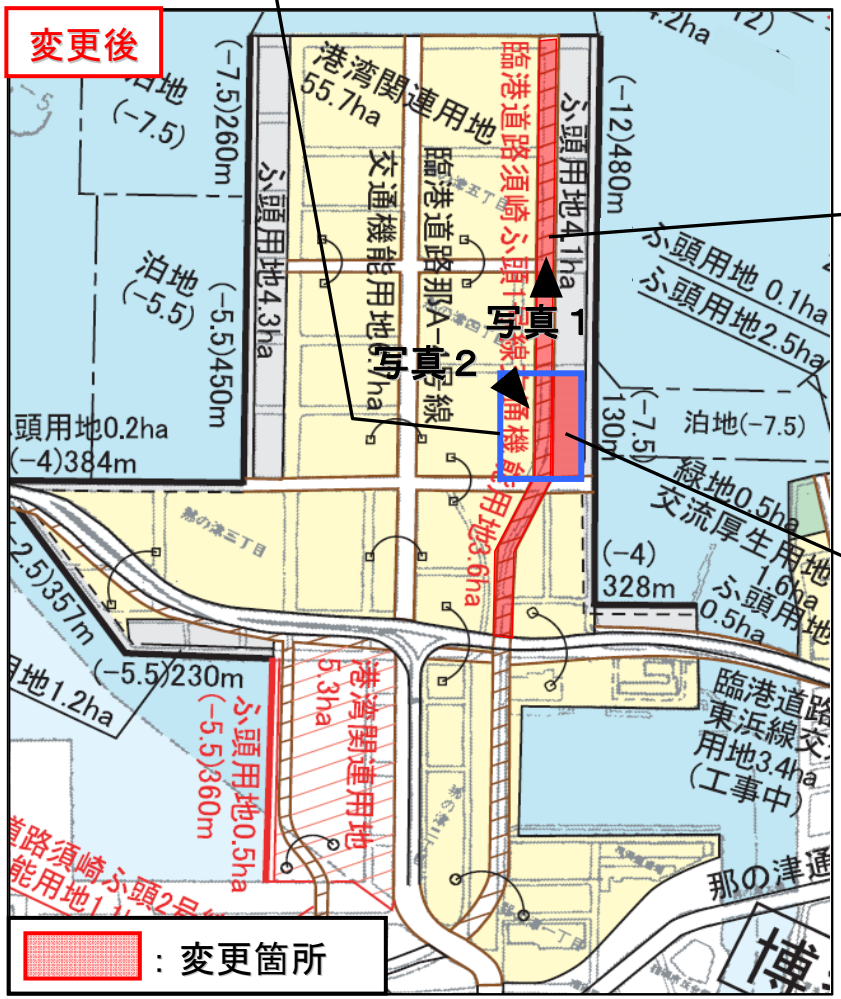
○新工場の建設は博多港の穀物取扱機能の強化のみならず、
新たな雇用の創出や本市経済力の向上に繋がる。

製粉工場の概要

敷地面積：約２ha
施設概要：延床面積　約２２，０００～２８，０００㎡
　　製造棟（鉄筋コンクリート造６～７階建）
　　小麦用サイロ
　　小麦粉用サイロ
　　製品倉庫
　　事務所等
生産品目：小麦粉、小麦ふすま
生産能力：５２０トン／日
従業者数：約１００名
建設期間：平成２４年春～平成２６年春（予定）

土地利用の現状

製粉工場建設予定地



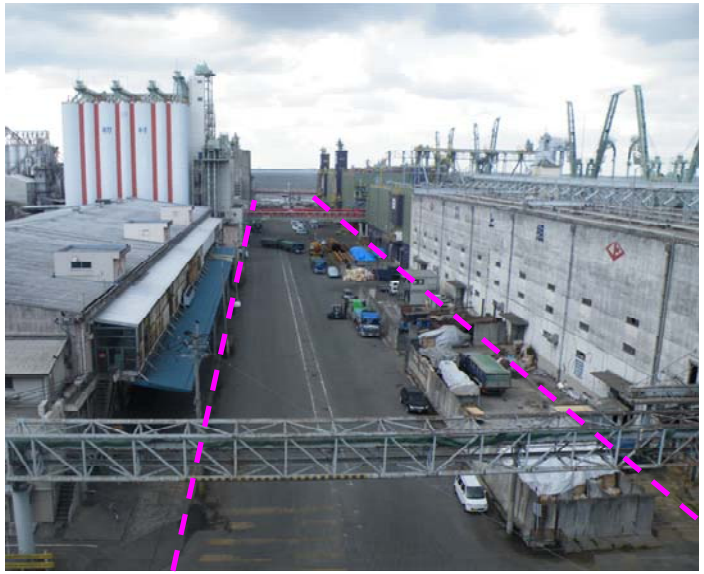


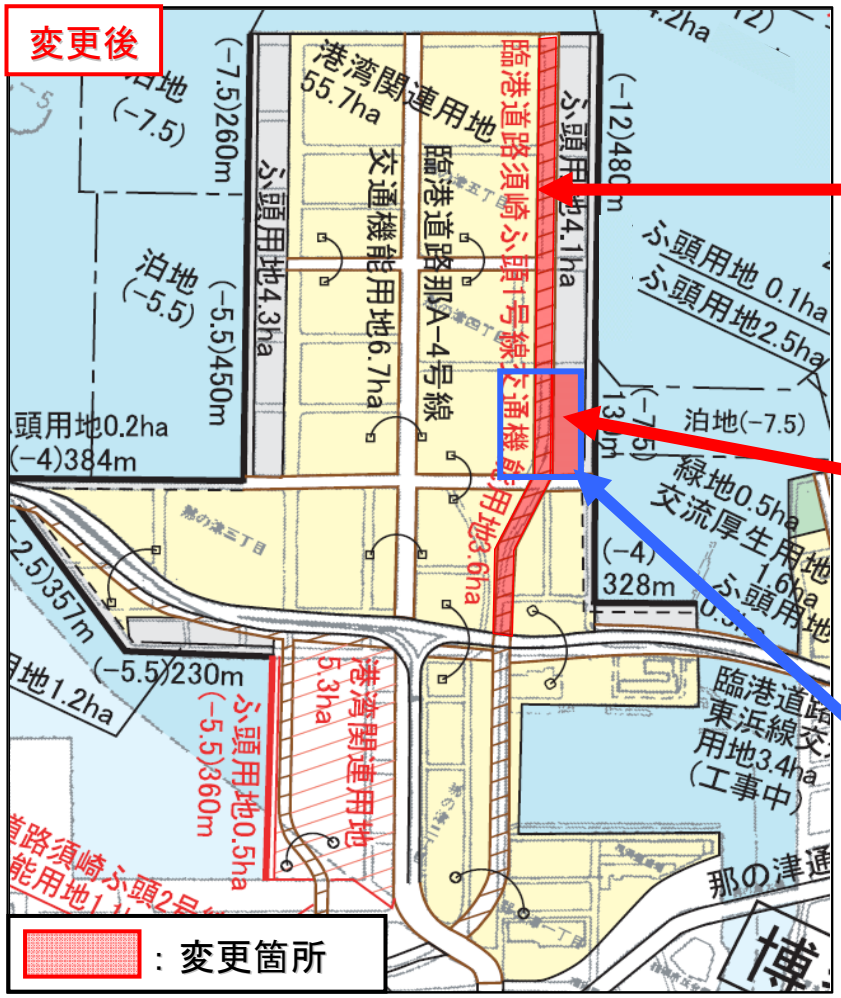
写真１　須崎埠頭１号線予定地の現状

写真２　上屋及び民間倉庫の現状

変更の内容

○新工場建設予定地約２haについて、「ふ頭用地」及び「交通機能用地」から「港湾関連用地」へ変更

○須崎ふ頭１号線について、交通実態等から将来計画を見直し、須崎・東浜線以北の約７００ｍ区間を「交通機能用地」から「港湾関連用地」へ変更



交通機能用地(2ha) → 港湾関連用地

ふ頭用地(1ha) → 港湾関連用地

製粉工場建設予定地